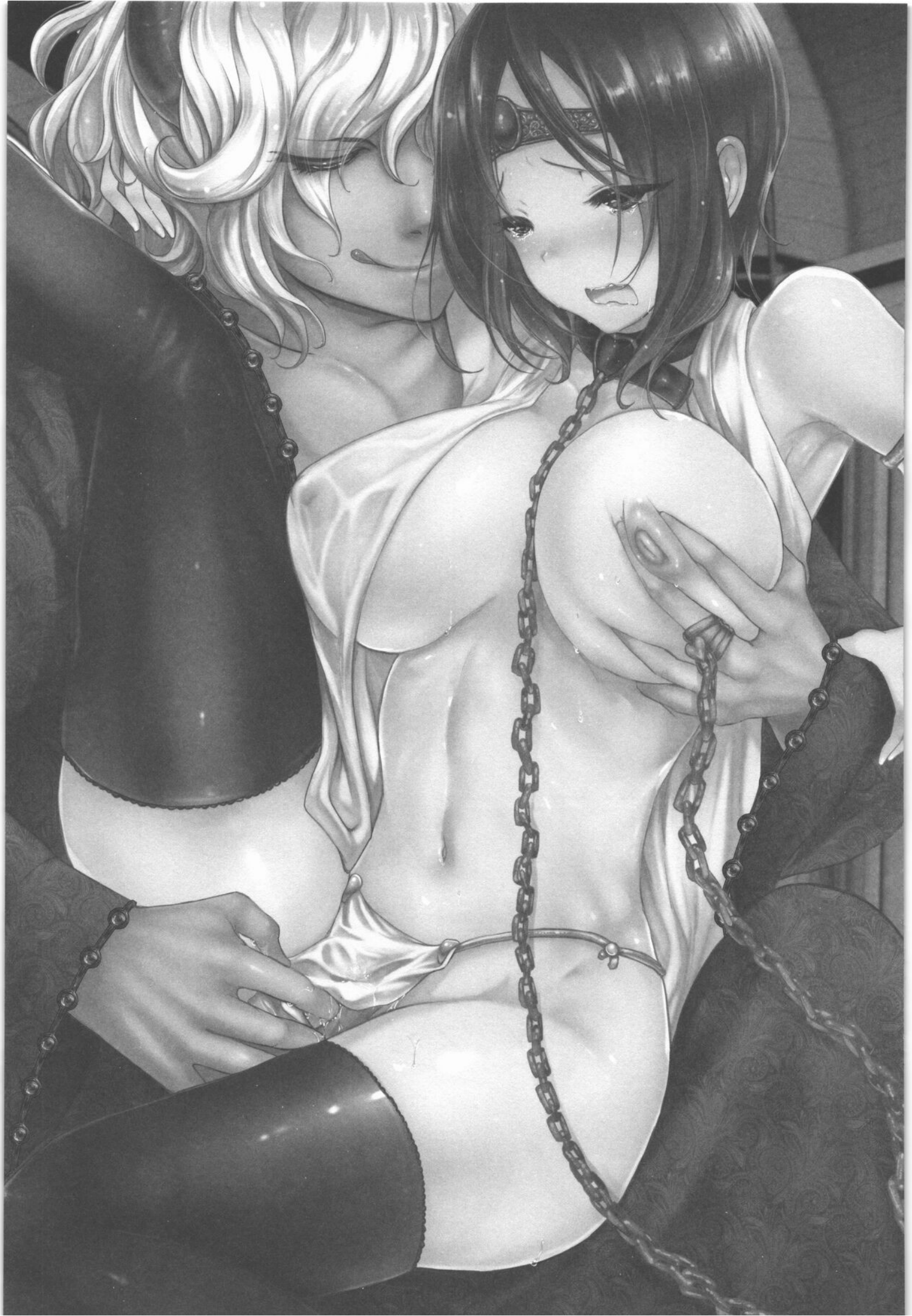
勇者が女体化
しちゃったら
魔王にハメられ
ちゃいました
R18



出てこい、魔物の主よ！
私は神聖王国より遣わされたる勇者ファイス！
こんな廃墟まできて突然剣を抜くとは穏やかではないな、勇者とやら
妾に何用か？
魔物を暴走させ人々を苦しめるお前を討伐しにきた！覚悟しろ！

魔王の側近である言蛇の魔女に単独で立ち向かうとは無知なことよ
力が萎え身体が変質し死に至る呪いだ
ヘヘッ
パアアア
その身の程知らずの蛮勇に罰をくれてやろう人の子よ
これは感染し拡大する故助けを求める事もかなわず孤独に彷徨い続けるしかないぞ
ハァ
ハァ
ガク
えっと…これを解呪出来るのは迷いの森の魔人くらいしかおらんだろうな？
探すのは難しいだろうなせいぜい苦しむがよい
はよ…
ムッ…

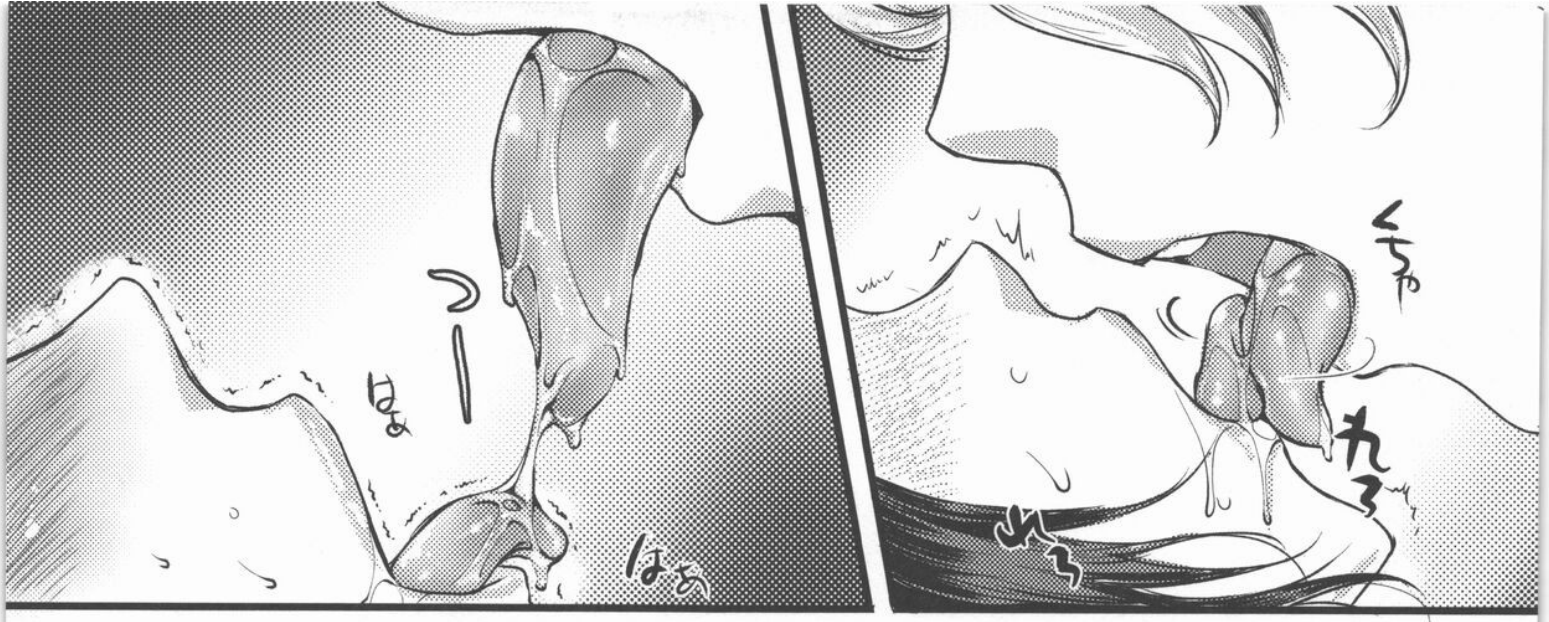
—迷いの森深部—
探し続けて幾日か…
ガサッ
ガサッ
本当に居るかもわからない人物を探してあるき続けているけれども…
はあ
はあ
人を救わんと血の滲むような鍛錬を積みやっと勇者になったというのに…
ふらあ
こんなところで力尽きるのか…
ばたーん

おや？
角…？
大丈夫ですか？
まさかこんなところに
人間がいるとは
すっと
これはいけない
だいぶ弱っているようだ
ボクの家はすぐそこですから
休んでください
はぁ
はぁ
あ…りがとう
ございます…
迷いの森の
魔人って
この人だよね…
いいんですよ可愛い人
なんたか
ちょっと変だけど
優しそうで良かった…
喜んで
お世話しますから
遠慮しないで
フフ

知らない部屋…？
ん…
ああ…そうか
森で彷徨って…
助けてもらって…
あ、あの
助けて頂いて
ありがとうございました
！
目がさめたようだね
顔色もよくなったよ
気にしないでいいよ
めったにこないお客さんだ
歓迎するよ

あの…
貴方に用があって
ここまで来たんです
ああ、君にかけられている
呪いの事かい？
え…と
なぜそれを
君の身体から立ち上る
瘴気のパターンからね
言蛇の魔女に
意地悪されたんだろう？
ええ…私は
神聖王国の勇者で…
討伐しようとして…
ビクッ
ガシッ
あのっ
なにを…
あの…ちょっと…
決まってるじゃないか
解呪してほしいんだよね？

んんっ
ちゅっ♥
ちゅっ♥
きっ！キスされ…！
舌…入って…っ
れろぉ～
ちゅく
ちゅぱ
ちゅく
ちゅぱ
ん
ちゅぱ
ちゅぱ
んっ
息ができな…苦しいっ
ふっ
ちゅく
ちゅぱ
ちゅぱ
ちゅぱ
ちゅぱ
ちゅぱ
ちゅぱ


くちゅ
ぬろ
つー
はぁ

蕩け顔可愛い…
なんでこんなキスして…
はぁ
ひく
とろ

かけられた呪いを内側から解くためにボクの魔力を君に注入しないといけないんだよ
でも…
ぷるん
あ…もしかしてキス初めてだった？
…うう

そっ
はっ
ぶるっ
勇者さん、
殆ど女の子に
変化しちゃってるね
かなり繊細な
呪術だから
時間がかかるよ
いい子だね…
これから身体中に
触れて注入するからね
ビクーン
はぁっ
身体の感覚も
女性になってるから
いつもと違っても
恥ずかしがらないでね
うふふ
レトっ

ここのなかも
女性化しちゃってる
みたいだね
どうなってるか
ちょっと探査
してみるよ

まっ
魔人さんっ
ユールクと
ユールク…っ
指が…
勇者さんの
女の子化した部分を
調べてるんだよ
大体わかった
よかった…
元に戻れるん
ですね…

女の子の部分をトロトロになるまでほぐすね♥
あっ
そ…それは必要な事なんですか？
勿論！解呪するのにとても重要な作業だよ♥
ああ…ピンク色の襞がヒクヒクしてておいしそう♡
?!
たっぷり舐めてあげるね♥
ぬちゃっ
え…ちょっと待っ…
ひうっ

あっ
はっ
コリコリの部分クニクニしたら気持ちいい？♥
ぐりぐり
ぐちゅ
ぬぷ
ぬぷ
ぐちゅ
やめっ
そこばかり舐めないでくださっ
ビクッ
気持ちよくない？
にちゃ
にちゃ
ぐちゃ
ぐちゃ
ぐちゃ
あっ
い…いですけどっこれって解呪の一環…ってでっ
勿論そうだよ？♥
気持ちよくトロトロになってから魔力を入れたほうが吸収がいいんだよ？
ちゅっ
あっ
んーヌルヌルがでてきたおいしー♥
もっといっぱい気持ちよくなって？♥
やめっ
ちゃぷ
ちゃぷ

もっとヌルヌル
いっぱい出して？
たくさん舐めたいから
中を舌で
かき回さないで
くださいっ
無理っ
あああっ♥
無理です～っ
おかしくなるっ
イキそう？
我慢しないで
イっていいよ？
いいね♥
トロットロに
準備が
出来たよ

はい…
今からボクの魔力を注ぎ込むからね
少しでも痛かったり辛かったりしたら我慢しないで言ってね？♥
それじゃあ挿入れるからね？
勇者さんのおまんこをなめまわしてたらボクのがパンパンに膨らんじゃってね♥
魔力を注ぐって…まさか…

力を抜いて
リラックスして？
今ストップしたら
また最初から
やり直すことに
なってしまうよ？
す、すみません
続けてください…
じゃあ
いくよ？
ぬちゃ
あっ
ぴくっ
ひろ
一気に押し込むよっ
ずんっ
ガはっ
はぁ

勇者さん…
すごい…
中が熱くてぎちぎちに
しまってるよ…っ
ぐっ
ぐっ
つらいよね？
ちょっと待って…

これを飲み込んで？
今辛いのも楽になるよ
口を開けてご覧
いい子だね
すぐ効いてくるから
どう？
身体が楽になって
きたけど…
なんだか火照ってきて…

熱…
なんかおかし…?
あ?
あれ?
あっ
ぱちゅんっ
!?
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
おぉっ
やぁあっ

あっ
はっ
気持ちいい？
ボクは最高に気持ちいいよっ
もっと勇者さんの奥の奥までこすってボクで染めないと…っ

勇者…
ファイスっ
もう…
イクよ…
ボクの魔力
ファイスの子宮にたっぷり
注ぐよっ

も…
もう解呪
できました…よね？
なかに
たくさん
魔力…入って…て
ファイスさん
言い忘れていたんですが
これを何度も何度も
行わないといけないんですよ
そんな…っ
話が違いますっ
あの…この解呪方法って
ほんとに正しいんですか？
心配しないで？
ボクは何度でも魔力を
中に注ぐ事はできますから
たくさんしましょうね？
そうじゃなくてっ
ちょっと待って…
ユールク様…
勇者にご執心のようですが…

部下も皆待っておりますゆえ
一刻も早くお戻りください！
いつ魔界に戻られるんですか？
いやあ、面倒だし
ファイスも手に入ったし
当分その気はないよ？
ははは

妾はあのヒドい茶番に付き合いましたし
勇者を女にする魔術もかけたではないですか！
あの台本ヒドかったですよ
そうそう、協力してもらってほんっと助かったよ！お陰で自分からこっちにきてくれたもんねー
もうっ!!
何度も勇者を嬲って満足いたしましたでしょう？あの程度の容姿や力をもつ者なら城にいくらでもおりましょうに!!"
いやあ、ファイスの事一目惚れだったんだよ？魔鏡で人界覗いてた時にあの子の姿をみたら魂の質がすっごい好みで
生まれたままの姿がずーーっと見えてもん
どうしても手に入れたくなっちゃって協力してもらっておまえにはとても感謝しているよ
でもさぁ部下にファイスの事喋ったり殺そうとしたり余計な手出しをしたら
魔界ごと消滅させるからな？

ドタドタ
とにかく忙しいの！
当分帰らないから
仕事はお前が適当にやっといて！
ニヤッ
ガクーン
こわかったよー
なにあの女郎
こわい
ここ数百年で穏やかになったと思っていたけれども
破壊の化身と呼ばれていた頃と何も変わってないじゃない
めっちゃこわいんですけれども！
あれはもう
せっかく言うことを聞いてくれないな
目につくもの皆殺しタイプ
とりあえず、ユールク様が
勇者を抑えている、と
言うことにしておけばいいか…
勇者も魔王も動かなければ
人と魔族も戦争のしようがないし…
ちょっとだけ
勇者に
同情してしまうけれども
強く生きてね勇者
南無

あとがき

どうも英田です。

今回はくらくない
おはなしになりました

あと、ショートカットって
描くのとても大変な髪が
します。大変むずかしたです。

次回はなにしましょうかねー？

ではまた

2016.12.某日

当初の設定より
アホになってしまた
筆者さん
ラスト部分を
だいぶはしょって
ちょっとムリくりに
なってしまったなぁ…

勇者が女体化しちゃったら魔王にハメられちゃいました

発行　英田舞/Lagarto

発行日　2016/12/31

印刷　金沢印刷様

連絡　aidamai.lagarto@gmail.com

無断転載　無断アップロードを禁じます
成人向けの表現がありますので未成年の閲覧購入を禁じます

Lagarto